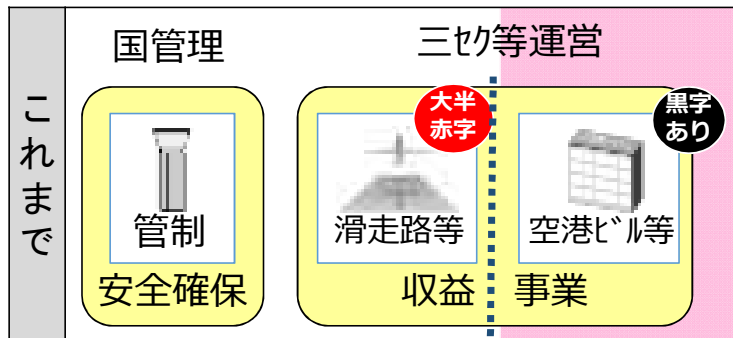


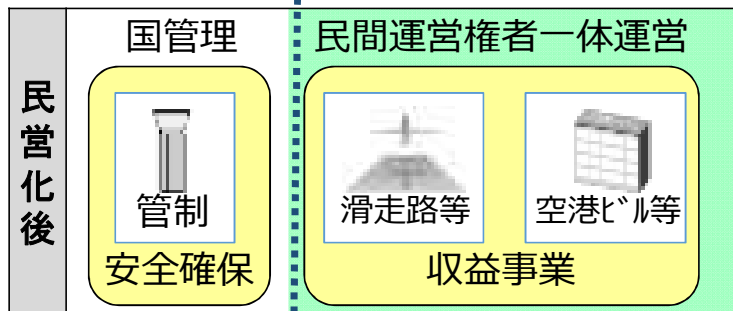
3-2 仙台空港の民営化

▽ 民間事業者が空港・関連施設を一体的に運営できる仕組みを新たに導入
→ 民間の資金や経営能力の活用で、合理的かつ機動的な空港経営を実現

経営構造の変化と民営化効果



- ① 滑走路・駐車場等と空港ビル等の運営主体が分離（非効率）
- ② 原則全国一律の着陸料収入(全空港分)を特別会計でプール管理（経営感覚の欠如）
- ③ 空港及び周辺地域の活性化に民間資本が入りにくい



- ① 空港・関連施設の一体的運営による効率的な設備投資で収益を改善
- ② 運営権者の判断に基づく柔軟な着陸料設定
- ③ 民間の知恵を活かした地域住民・関係事業者との連携強化

空港及び周辺地域の活性化・交流人口の拡大

東北再興の拠点空港へ



3-3 民営化後の主な動き～施設整備～

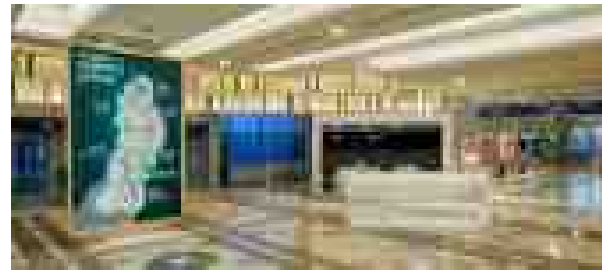
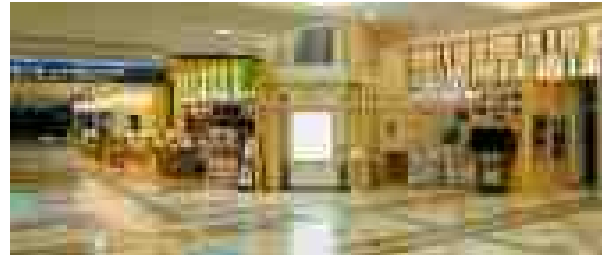
旅客搭乗施設「ピア棟」の新設



平成30年10月28日
新たな搭乗施設としてピア棟が完成し、
利用開始予定。

新規就航路線
の誘致等に弾
みがつくこと
を期待！

ターミナルビルリニューアル



- みちのく観光案内
旅行会社が運営。交通チケットの購入、ホテル予約等も可能。
- みちのくラウンジ
昼はカフェ、夜はバーに。様々な利用シーンに対応し、居心地の良い空間を提供。
- インフォメーション
交通情報（フライトインフォメーション、鉄道、定期運行バス）を集約し、情報提供。

<空港利用者の利便性向上等の取組>

- ・ランナーズポートの設置
- ・サイクリングポートの設置
- ・国際線トイレリニューアル（洋式化）
- ・礼拝室（特定宗教に限定しない）の設置
- ・桜の植樹
- ・マルチメディアウォール（大型スクリーン）の設置によるフライト情報や観光情報の発信



3-4 民営化後の主な動き～2次交通の整備～

民営化後，仙台空港と各地を直結する高速バスが続々と運行開始!!

○直通高速バス路線

H28.11月～

福島・二本松・会津若松方面 運行開始!

H29.1月～

松島・平泉方面，松島・奥松島周遊（季節限定） 運行開始!

H29.4月～

酒田・鶴岡方面，山形方面 運行開始!

H29.9月～

秋保方面 通年試験運行開始!

H29.12月～

盛岡・安比方面（冬期のみ），山形蔵王方面（冬期のみ） 運行開始!

H30.5月～

花巻方面運行開始!

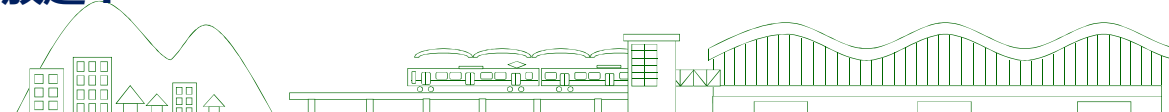
H30.10月～

村田・蔵王・川崎方面 試験運行開始!

○仙台まるごとパスも好評!

- ・エリア区間内のJRや仙台市営バス等が2日間乗り放題!
- ・仙台空港アクセス線も利用可能!

仙台空港直結の高速バス網



3-5 民営化後の主な動き～就航便の増加～

平成30年10月現在

新規就航・増便

【国際線】

就航路線	民営化以前
仙台－ソウル	4往復/週
仙台－台北	2往復/週
仙台－上海・北京	2往復/週
仙台－グアム	2往復/週
国際線全体	10往復/週



民営化後	
7往復/週	アジアナ航空増便(4→7往復)
13往復/週	タイガーエア台湾 増便(5往復) エバー航空増便(4往復) ピーチ・アビエーション新規就航(4往復)
2往復/週	
休止	
22往復/週	



【国内線】

航空会社	時期	内容
スカイマーク	H29.7.1～	「仙台－神戸線」就航(2往復/日)
ピーチ・アビエーション ※仙台空港拠点化(国内3番目)	H29.9.24～	「仙台－札幌線」就航(2往復/日)
フジドリームエアラインズ	H30.4.20～	「仙台－出雲線」就航(1往復/日)

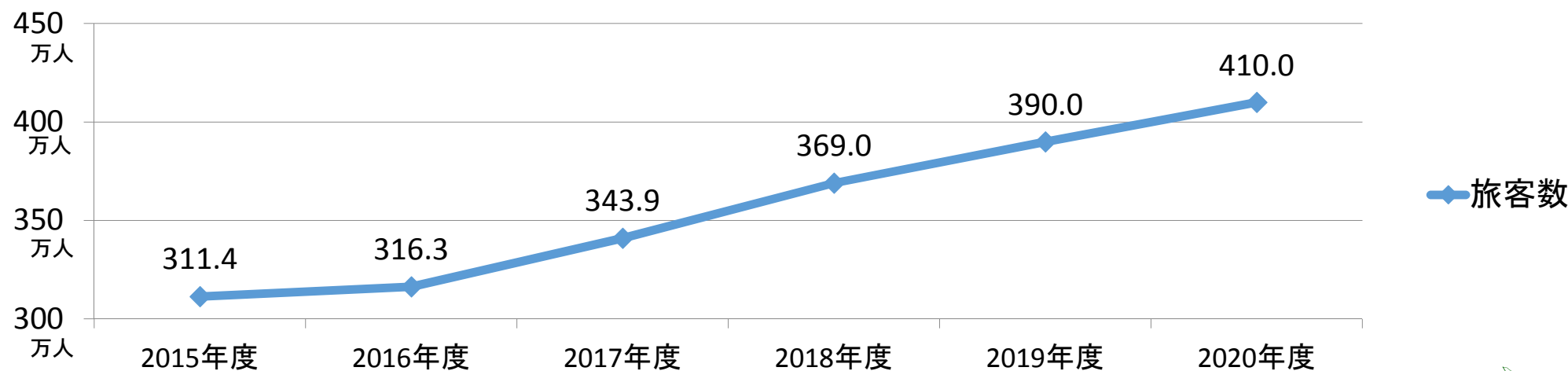


3-6 民営化後の旅客数と将来見込み

▽仙台国際空港(株)の中期計画

単位：人

	民営化以前 (2015年度)	民営化開始 (2016年度)	2017年度	2020年度
国内線	2,954,079	2,937,046	3,158,572	3,620,000
国際線	160,169	225,551	280,667	480,000
計	3,114,248	3,162,597	3,439,239	4,100,000



出典：2017年度までは国土交通省調べ確定値

